

II. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法

ブランド牛を担保としたABL

(金融機関名) 山梨中央銀行

1. 動機(経緯)	当行は、改正農地法の施行等変革期にある農業分野について、「やまなし食のマッチングフェア」や「やまなし食のビジネス情報連絡会」等の農業関連事業者のネットワーク拡大や、新ビジネス創出の機会提供を実施するなど、地域経済の活性化に積極的に取り組んでいる。こうした一連の取組みを通じて、事業者より出たニーズに対して、問題解決を行ったもの。
2. 概要	不動産担保や保証に過度に依存しない融資であるABLの一形態とした取組みとして、地域ブランド牛を担保とした動産担保融資の実施。 当地域ブランド牛(甲州ワインビーフ)を畜産している事業者に対し、肉牛を担保とした融資枠を設定した。 トレーサビリティ制度に基づき各肥育牛に付けられている耳標(個体識別番号)による、当社の木目細やかな在庫管理に着目。当行は定期的にモニタリングを実施する。また、担保取得方法は、動産譲渡登記(集合動産)を活用した。
3. 成果(効果)	・事業者との関係強化ならびに取引拡大。 ・事業者の問題解決の一手段として動産担保融資を確立。
4. 今後の予定(課題)	ABLは、業種を問わず事業者の問題解決や金融機関のビジネスチャンスとして、将来的にも期待度は高まっていくものと考ええる。 今後は、業種にとらわれず事業者の業態やニーズにより拡大を図っていきたい。

地域密着型金融に関するシンポジウム
IN TOKYO

農業分野への取組みと
A B L (Asset Based Lending)

平成20年1月16日(水)

株式会社山梨中央銀行

営業統括部 小俣 晃

当行の農業分野への取り組み

- 平成17年 8月 農林漁業金融公庫との業務協力締結
- 平成17年10月 農業金融推進会議開催
- 平成18年 3月 「山梨中銀農業サポートローン」創設
- 平成18年 5月 「やまなし食のマッチングフェア」開催
- 平成18年10月 フーズインフォーマット「山梨食材市場」開設
- 平成18年11月 「やまなし食のビジネス情報連絡会」設立
- 平成19年 6月 「やまなし食のマッチングフェア 2007」
開催

当行の農業分野への取組み

- ・改正農地法の施行 → 株式会社の農業参入が可能に
- ・従来型の農業形態の衰退、異業種参入・農業法人化

環境変化

- ・生産者、食品製造・加工・卸等、
小売・外食の業者間の交流機会の提供

○ やまなし食のマッチングフェア



○ やまなし食のビジネス情報連絡会



ネットワークの拡大、新ビジネス創出など→**地域経済の活性化**

1. 融資内容

融資形態	当座貸越
対象担保	肉牛（甲州ワインビーフ）
担保取得方法	動産譲渡登記

2. 企業概要

企業名	有限会社小林牧場
事業内容	「甲州ワインビーフ」ブランドで知られる肉牛の生産・出荷。
特色	平成16年に生産情報公表JAS規格を取得し、食肉の安全な品質管理を行う。

融資事例~Asset Based Lending~

■動産担保(畜産物)を活用した融資のスキーム

